

学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和島東高等学校

評価実施日

平成 28 年 2 月 16 日 (木)

評 価 ・ 提 言 等

提言等に対する改善策等

1 自己評価の各領域について

(1) 生徒の自己実現

ア 分かる授業での実践では、昨年度より若干評価が高くなっている。生徒の授業に対する満足度が向上しており、先生方の授業改善への取組が評価できる。

イ 昨年は家庭学習時間が大幅に向上し、その効果によるものであろうが、進学実績も良好であった。それに比べ、現2年生の家庭学習時間が大変少なくなっていることは問題である。その原因を調査検討し、対策を講じる必要がある。
学習習慣の確立などは、生活習慣の改善といった人格形成のカギとなる要素も含む。長期的な視点で取り組む必要があるのではないだろうか。

ウ SSHなどの研究発表や外部コンテストにも積極的に参加し、成果を上げており高く評価できる。更に、上位入賞を目指して頑張ってもらいたい。

(2) 心身健康で豊かな心

ア 家庭と連携した個別指導など、きめ細かな取組がなされている。今後更に、学校、生徒、保護者そして地域住民とも情報を共有し、心豊かな生徒の育成に努めていただきたい。

イ 若者の読書離れが深刻となっている中、学校が目標とする冊数を大きく割り込む結果となっており、読書時間や読書週間を設けないと読書ができないという状況と察する。高校時代の読書は、感性を磨き、社会性を身に付ける大切な機会であり、読書習慣を身に付けさせるためにも現在の取組を継続してほしい。中学校では「朝の読書」の充実を力を入れて、定着化している。

(3) 魅力ある特別活動

ア 全ての分野で、すばらしい成果を上げている。生徒の切磋琢磨と同時に何事にも耐え得る精神を培うことに魅力を感じる。壁面の懸垂版が示す生徒の努力に一市民として感激している。質の高い文武両道の実践に学校全体で継続して取り組んでほしい。

イ 部活動への加入率を上げる努力によりその効果が現れていることは喜ばしい。しかし、一方で学習と部活動の両立に悩む生徒が増え、学習時間の低下を招いているとすれば問題である。総合的な視点で、じっくりと、個々と全体を点検する必要があるのではないだろうか。

ウ 学校行事や部活動も大切な教育要素であり、目的をしっかりと設定することで、その手段が鮮明になってくるのではないだろうか。また、毎年のように各種行事が増えることで活気を感じる一方、教職員が負担を感じているようだ。今後は、行事の統合や整理も含めて、検討が必要ではないだろうか。先生も生徒も時間(余裕)がないように感じられる。

2 定時制について

生徒は、様々な悩みを抱えているが、学習及び学校生活に対して満足度の高い評価を示している。一人一人の個に応じた指導が充実している結果であり、大変感謝している。

1

(1)

ア 各教科で実施している相互研修が充実してきており、今後も、その機会を十分に確保すると共に、各自が指導方法の工夫や改善に努めていきたい。

イ 学習時間の減少について、部活動や通学時間など考えられる要因とのその関連性を調査分析し、学習習慣の確立を図っていききたい。また、新入生に対しては、学習法理解オリエンテーション、プロフェッショナルとの交流会やACEの時間などを通して、早期に明確な目標設定ができるよう指導していききたい。新3年生に対しては、生徒自身が生活全体を見直すことができるよう、個に応じたきめ細かな指導をしていきたい。

ウ 課題研究テーマを精選するとともに活動環境を整えて、生徒が積極的・自主的に取り組めるように指導していききたい。

(2)

ア あらゆる場面を通じて生徒理解に努めると共に、懇談会等を通じて保護者との相互理解を図っていききたい。また、身だしなみや挨拶の指導については、全教職員の共通理解のもと取り組んでいきたい。

イ 来年度は、4月より「朝の読書」を年間通して実施する予定である。また、図書委員会による話題図書の紹介やビブリオバトルなども継続して行い、読書に対する啓発活動を活性化し、全校生徒が本に触れる機会をできる限り増やしていきたい。

(3)

ア 指導体制の充実と共に、生徒の主体性を育て、魅力ある部活動の推進を図り、更に活気ある部活動にしていききたい。学習との両立が難しい状況であるが、両者の間には相関関係が存在することから、今後の伸びに期待をしており、長い目で見てほしい。

イ 「自己実現」の項目でも指摘を受けた内容であり、十分に調査検討していききたい。また、両立が上手くできていない生徒に対しては、教科担任、学級担任、部活動顧問の三者が連携を図りながら個別指導の充実を努めていきたい。

ウ 増加する各種行事への対応に追われ、教員・生徒とも余裕がない状況である。特別活動の目的を再確認し、その実現のために必要な手段(学校行事等)を検討し、行事の精選を検討していききたい。

2

様々な教育活動を通して、コミュニケーション能力の向上と学校生活に対する意欲と自信を身に付けさせる指導をしていきたい。また、進路選択においては、より高い目標を掲げ、努力する姿勢を持たせたい。

<p>3 説明・公表について 校長のリーダーシップが発揮され、貴校の伝統を更に伸張させようとする前向きな姿勢が高く評価できる。教職員、生徒、保護者の有機的な連携が結果を生むカギである。アンケート結果からは、先生が熱心に取り組まれている姿勢を生徒・保護者が高く評価していることも伺える。今後ますます少子化が進む中で、貴校の特色と、魅力ある学校の取組をアピールしていく必要がある。</p> <p>4 学校運営について ア 主権者教育の充実など、今後はより多様な社会性を身に付けさせる教育が求められており、今後の貴校の取組に期待したい。</p> <p>イ 校長が、強いリーダーシップを発揮すると共に、教職員が良く努力され、明るく積極的で、活気溢れる雰囲気を作り出しているおり、学校運営全体が良好であり高く評価できる。貴校を取り巻く教育環境は、さらに大変さを増すが、教職員の負担を減らす工夫をしつつも、生徒自身が成長を実感できる学校として頑張ってください。</p>	<p>3 今年度よりホームページを刷新し、生徒の活躍はもちろんのこと、本校の教育理念や学校運営に対する考え方を発信してきた。今後も、生徒、保護者をはじめ、地域の小中学生、市民などへ向けて、より充実した広報活動を進めていきたい。</p> <p>4 ア 公民科を中心に取組を始めている。社会との関わりが希薄化しているなかで、物事を多面的に捉える視点を育て、社会参加のために必要な考えや行動力を身に付けさせるよう、全教科で取組方法を研究している。</p> <p>イ 地域の期待に応えながら、生徒の夢を実現させることができるよう、全教職員が共通理解のもと一致団結して取り組んでいきたい。</p>
--	---